

# 福岡と朝鮮通信使

—地方史の窓から世界が見える—

## 講演

### ◆「朝鮮通信使を記録する —黒田家文書と対馬宗家文書—」

山口 華代 氏 (長崎県教育庁学芸文化課)

江戸時代における朝鮮通信使の来日は、近世日本が総力を挙げて対応した国家的規模の外交儀礼でした。福岡藩では相島での通信使接待が知られていますが、ここでは福岡藩および対馬藩に残る二つの大名家文書を比較し、朝鮮通信使を記録することの意義を考えます。

### ◆「地域史料から見た福岡藩儒と朝鮮通信使の交流」

吉田 洋一 氏 (久留米大学文学部准教授)

朝鮮通信使が訪日して果たした重要な役割は、政治外交の側面と文化交流の側面が考えられています。沿路諸藩の客館では、朱子学をはじめ先進的な朝鮮文化が学ばれましたが、本報告では福岡藩に關係する知識人と通信使との交流を事例に解説します。

### ◆「相島通信使関連史跡調査の近年の成果

—享保4年7月24日大風破船・61名溺死事故を中心に—

(相島歴史の会活動報告)」

今村 公亮 氏 (相島歴史の会)

2010年、相島の百合越浜の石碑の拓本を採ったところ、享保度の通信使を迎護準備中に大風・破船で福岡藩士と水夫計61名溺死した供養塔だと判明した。これを機に神宮寺の幾多の遺物の関与が明らかになった。その報告と島の通信使の伝承についてお話します。

期 日 平成28年 **6月25日(土)** 13:00~16:00 ※受付開始 12:30

会 場 **福岡県立図書館** レクチャールーム (福岡市東区箱崎)

定 員 **130名 (要事前申込)** ※申込用紙は裏面

参加費 **無料**

主催 福岡県教育委員会

共催 福岡県地方史研究連絡協議会 (福史連)

# 第 50 回福岡県地方史研究協議大会 受講申込書

【 申込締切 】 6 月 1 4 日 ( 火 )

(ふりがな) お名前	( )		
該当するものに○をしてください。		電 話	
( ) 福史連加盟団体所属	( ) 個人	F A X	
( ) それ以外の団体所属	[ ]		

① ~③のいずれかでお申し込みください。※電話での申込は御遠慮ください。

① F A X : 0 9 2 - 6 4 1 - 1 1 2 7 この面をそのまま FAX してください。

② Eメール : 【送信先】 kyodo-reference@lib.pref.fukuoka.jp

上のアドレスに、氏名・電話・FAX 番号、所属を明記して、タイトルを「地方史大会申込」として送信してください。

③ 郵送 : 受講申込書に必要事項を記入して、下記に郵送してください

〒 812-8651 福岡市東区箱崎 1 丁目 4 1 - 1 2

福岡県立図書館 郷土資料課 地方史大会申込 宛

※申込が定員を超えた場合は、受講できない方のみにご連絡します。

お問い合わせ : 福岡県立図書館 郷土資料課 TEL : 092-641-1126

御記入頂いた内容については、当事業以外の目的で使用することはありません。

## \* 同時開催 \*

### ◆ 第11回地方史フェア ( 福史連主催 )

福史連加盟団体の刊行物の販売等を会場前のロビーで行います。

お問い合わせ 福岡県立図書館 郷土資料課

福岡市東区箱崎 1 丁目 4 1 - 1 2

TEL 092-641-1126 ( 直通 )

FAX 092-641-1127 ( 代表 )



・ 地下鉄「箱崎宮前」駅 徒歩 3 分

・ J R 九州「箱崎」駅下車徒歩 15 分